

乳幼児の歯ブラシ事故に注意

乳歯が生え、始まる歯磨き。小さいうちから我が子に歯

磨きを身につけさせようと頑張っているお母様も

多いと思います。しかし、そこには思わぬ危険が潜んで

ます。東京消防庁管内では、平成22年から26年までの

5年間に、5歳以下の乳幼児が歯磨き中の事故で207人

が救急搬送されています。また、消費者庁と国民生活セン

ターの共同事業である医療機関ネットワークには、乳幼児

が歯磨き中に歯ブラシをくわえたまま転倒するなどして外

傷を負ったという報告も寄せられています。中には頬に刺

さって手術となったケースや、咽頭に刺さった歯ブラシの

先端が折れて頸静脈のすぐそばにまで入ってしまったケー

スなど、重症となる事例も珍しくないそうです。

さらに消防庁が行った意識調査によると、4人に

1人の乳幼児が歯ブラシにより怪我をした、または

怪我をしそうになった経験があるとのことでした。し

かし、歯ブラシは箆やフォークと違い先端に丸みを

帯びているため、大きな事故に至るとい認識が保

護者にはあまりないようです。

乳幼児に歯磨きを教えることは、オーラルケアの

観点からも子供の成長教育の観点からも重要なこと

です。しかし、その際には、大きな事故が起こり得

る事を保護者が認識しておく事が大切です。

特に1〜2歳児は歯ブラシを口にくわえたり手に

持ったまま歩き回ることが多く、保護者の皆様に

は、より一層のご注意をお願いいたします。

歯のクイズ

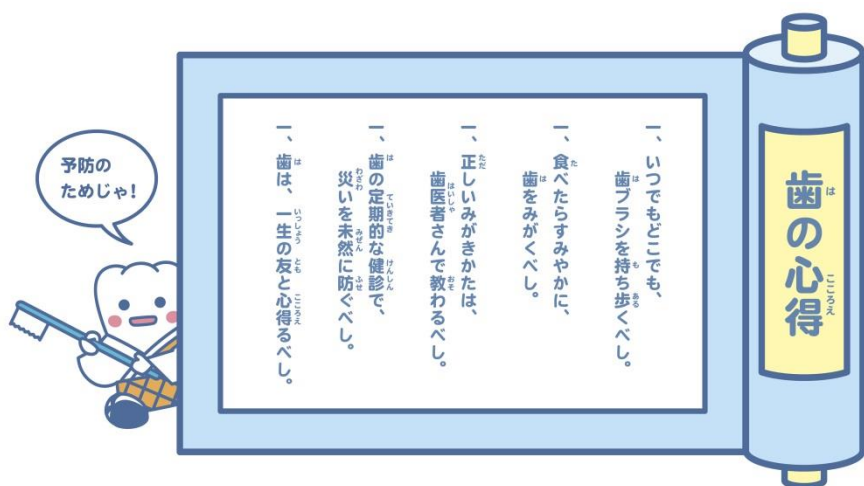
(1) 日本モンキーセンターのヒヒの群れのボスザルがその地位を追われましたその原因は？

- ①誤って犬歯を折ってしまった。
- ②病気になった
- ③はぐれザルとの喧嘩にまけた

(2) 一番に虫歯になりやすい歯は？

- ①前歯
- ②奥歯
- ③横歯

正解は右下です。



- 一、歯磨きをするときは、歯ブラシを持ち歩かへし。
- 一、食べたらすみやかに、歯をみがくべし。
- 一、正しいみがきかたは、歯医者さんで教わるべし。
- 一、歯の定期的な健診で、災いを未然に防ぐべし。
- 一、歯は、一生の友と心得るべし。



牛久市歯科医師会は1986年6月の牛久市政施行と同時に当時の茎崎町と分離発足しました。現在37歯科医療施設の管理者で構成されており、日々の歯科診療の他牛久市との委託契約により成人歯周疾患検診や学校検診、1歳半・3歳児検診をはじめとして牛久市民の皆様に様々な医療サービスを提供しています。